

浦添市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理シート

担当課	市民部経済観光局 産業振興課	内線	3161
戦略	戦略2 産業振興を通して域外からの収入の増加を目指す		
	戦略(2)-1 企業誘致などを通して就業の場の確保を目指す		

指標	空き店舗への入居件数（本市空き店舗検索システム「START-UP URASOE」の活用に限る。）		
現況値	2015年度	0件	
	2016年度	9件	
目標値	2020年3月までの累計	30件	
人口ビジョンにおける目指すべき将来の方向			
①	安心して結婚・出産、子育てできるまちに (自然増の確保・社会減の抑制)	②	人々が集まり、住みたくなるまちに (社会増の確保)
③	長く住み続けられる住みよいまちに (社会減の抑制)		

目標値達成に向けての取り組み			
1	事業名	緊急経済対策事業（雇用促進）	
	取り組み	補助金の交付	
	内容	浦添市産業振興補助金交付規程に基づき、市内に新設する個人、法人が行う事業の経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付した。	
	改善点	家賃補助のみであった補助事業に、空き店舗活用等企業支援事業（リフォーム補助）、雇用支援事業を追加し、制度を拡充した。	
2	事業名	緊急経済対策事業（雇用促進）	
	取り組み	創業支援サイト スタートアップ浦添での情報提供	
	内容	市内で、新たに事業を開始しようとする個人・法人等に対し、空き店舗情報、創業セミナー、創業支援事業計画における優遇制度等の情報を集約し、情報提供を行った。	
	改善点		
3	事業名		
	取り組み		
	内容		
	改善点		

目標値達成に向け、他課（庁内）や他団体（庁外）との連携を意識したか。（平成27年度）
金融機関の実施した創業セミナー、また、市で実施した創業セミナーに訪問し、市内での創業を希望する方に対して、START-UP URASOEの周知活動を行った。

目標値達成に向け、情報収集・分析を意識したか。（平成27年度）。
START-UP URASOEのみでは市内の空き店舗情報を網羅するのは困難であるので、適宜、市内を探索し、空き物件の情報収集に努めている。

目標値達成に向け、市民意見の反映を意識したか。（平成27年度）。
家賃補助を受ける要件として、市民を正社員として雇用することとしているが、小規模事業者にはハードルが高いとの声があったことから、一定条件の下に雇用の要件を緩和すると交付規程を変更した。

目標値に向けての進捗状況（平成27年度の実績に対する担当課の自己評価）

A：順調に進行している。	D：進行しているとはいえない。
<input checked="" type="radio"/> B：概ね進行している。	E：後退している。
C：一部進行している。	F：その他（ ）

進捗状況説明
家賃補助、リフォーム補助の交付申請が増えている。また、問い合わせも多くあることから、取り組みの効果は出ていると感じる。

目標値達成に向けて今後の展開	解決すべき課題・改善すべき点 ・サイトの周知に力を入れているが、まだ改善の余地があると考ええる。 ・空き店舗へ入居した方々の事業を定着させていくための支援が手薄である。
	今後の取り組み ・商工会議所、金融機関、市内不動産業者と連携し、サイトの認知度向上に努める。 ・空き店舗へ入居した方々の事業を定着させていくための支援の方法を検討する。

所見（コメント）
・指標の「空き店舗への入居件数（本市空き店舗検索システム「START-UP URASOE」の活用に限る。）」について、2015年11月にスタートし、2015年度の実績は0件でしたが、2016年度は9件に増加しています。
・今後は「浦添市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」の委員意見であったとおり「空き店舗の家主の意向確認」をはじめ全体的な改善・見直しに努めてください。